

「ふくえっ子」通信 NO. 5

平成30年

7月20日

きれいな学校＝美しい学校？

校長 吉岡智昭

「掃除開始5分前です。早く掃除場所に行き、ほこり一つないきれいな場所づくりをしましょう。」これは、掃除前に流れる放送です。毎回当番の中学生が放送します。この放送を聞く度に、山口県一きれいな福栄小中学校をめざすという気持ちが子どもたちの中に定着しているなという気持ちになります・・・ん？あれっ？なんかちがうな・・・。そうか、めざしているのは山口県一「きれいな」福栄小中学校ではなくて山口県一「美しい」福栄小中学校だったな。「きれいな学校」と「美しい学校」はとても似ているけどなんか違います。「きれいな」と「美しい」は似通った言葉です。校庭に美しく咲き誇るあじさいを見たときに思わず「きれいなあじさい！」と言ってしまいます。この場合「美しい」と「きれい」はほぼ同じ意味です。でも、炎天下の部活動で中学生が一生懸命に練習に取り組み流す汗や、合唱祭に向けた朝の練習に真剣に取り組む小学生が流す汗は「美しい汗」とは言っても「きれいな汗」とは言いません。この違いは何でしょうか。いろいろな解釈があると思いますが、わたしは、「きれいな」は目に見える表面の様子を表す言葉で、「美しい」は表面だけでなく内面の様子も表す言葉だと考えます。剣道部が一心に素振りをする姿、陸上競技部がダッシュをくり返す姿、合唱祭の朝練習で小学生が食い入るように指揮者を見つめる姿、このような子どもたちの努力を惜しまない姿には誠実さが感じられます。そこには中途半端な妥協はありません。美しさの源とは、何かに徹する心の持ち方にあるのかもしれませんが。本校では「ひたむき」「ぬくもり」「さわやか」を大切にしていますが、これらが徹底され自然な振る舞いとして身についた児童生徒が集う学校が、真の意味での「山口県一美しい福栄小中学校」なのだと思います。子どもたちは日々の掃除を無言で黙々とやります。小学部1年生から中学部3年生までが毎日ひたむきに掃除に取り組む姿は美しいです。掃除前の放送は2学期からはこうします。「掃除開始5分前です。早く掃除場所に行き、ほこり一つない美しい場所づくりをしましょう。」

表彰の記録



阿武地域歯の健康優良児審査会

第3位 中村一稀

歯の保健思想普及のための児童・生徒の作品募集第1次審査

ポスターの部 優秀 末永千穂

茶道教室を開きました

7月9日、中学部の生徒が、茶道教室に参加しました。裏千家師範の藤嶋先生、阿武先生の指導の下、茶道の基本的な作法について学びました。日頃正座になれていない生徒は、足のしびれとの戦いでしたが、美しい所作だけでなく、お互いを大切にする茶道の精神の一端に触れることができました。



かかしをつくりました

7月12日、小学部の児童が約20名の地域の方にお手伝いをいただき、学校田に設置するかかしをつくりました。大変熱い中でしたが熱心にご指導いただき、立派なかかし8体が完成しました。地域の方のお力で、子どもたちはまた一つ福栄小中学校ならではの貴重な経験を積むことができました。ありがとうございました。試作品と併せて9体のかかしたちが収穫までの約3か月間、しっかりと学校田を見守りますので、フォトジェニックな(=写真写りのよい)かかしたちにぜひ会いに来てください。

